

福祉むらやま

第 78 号 平成26年10月1日号

編集と発行

社会福祉法人 村山市社会福祉協議会

電 話 52-0321 F A X 55-7470

中央共同募金会「地域の新たなささえあい」基金モデル地域指定事業

「ほっこりむらやま」プロジェクト始動!!

(平成 26 年度～平成 27 年度)

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、地域住民の皆さんや様々な組織・団体との新しい協働による **見守り・支えあいの仕組みづくり** を行います。



(イメージデザイン)

村山市の 65 歳以上の高齢化率は 33%になりました。2050 年には、50%を超えると予想されています。

少子高齢化や核家族化の進行に伴い社会的孤立など、福祉の援助が必要な方の増加が見込まれます。

そこで、これまでの福祉活動では、発見・対応できない福祉課題に対応するため、新たな見守り・支えあいの仕組みが必要になります。

地域のさまざまな組織や団体の皆さんとの新しい協働による見守りや支えあいの方法を検討して行きますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

誰もが安心して暮らせる仕組みづくり

見 守 り 支 援

○いきいきネットワーク ○企業による見守り活動

隣り近所や市内の企業や商店にご協力頂き、見守りや声かけなど地域全体で支えあう仕組みを作ります。



集 い 場 づ くり

○ふれあい・いきいきサロン ○街なかサロン

○気軽に集まれる場所 ○集い場の発掘

地域での生きがいづくりや仲間づくりなど発掘活動や、新たな「出番（役割）」を見出せるような居場所づくりを行います。



生 活 支 援

○買い物支援 ○外出支援 ○除雪支援

生活上の不便さや課題について、みんなで意見を出し合い、解決できるようなサービスを開発します。



民生委員として感じること



村山市民生委員
児童委員協議会
会長 齊藤 浩志さん

「格子を開ければ顔なじみ」
今、一番大切な地域福祉
の原点である。
私たちは、同じ地域内で
同じ時代を社会の一員とし
て生きている。

だからこそ、隣同士の付き
合い、助け合いが肝心なので
ある。助け合いは、お互い様
である。人間一人では生きて
行けない。
多くの方々の支えがあれば
こそ、安心安全に暮らせるの
である。困っている人が在れ
ば、支えてあげるのは当然の
事である。
『いきいきネットワーク』
はそのためにある。多くの
方々の御理解をお願いしたい。

つなげよう

隣近所、人との輪

いきいき
ネットワーク
活動

いきいき
ネットワーク

〈対象者数〉

481 名

〈協力者数〉

1,179 名

H.26.8.14 現在

「お互いに気づく、支える、
絆づくりの推進」

地域で見守りが必要とする方に
気づき、ご近所同士のつながりの
中で、お互いに助け合いができる
よう、見守りの仕組みづくりを進
めております。

見つけた!!

すてきな「集い場」

「全国の美酒を楽しむ会」

平成十二年一月に発足し、
四十代から七十代の男性会員
で年四回集まっています。全
国の美酒を飲み比べることを
目標とし、食事や仲間同士の
会話を楽しみながら活動して
います。

「目標を持つて、楽しみな
がら集まることが大切なんだ
よ」と語ってくださった二代
目会長鈴木功さん。県内外の
日本酒を小さな盃で味を楽し
みながら今後も活動を継続し
ていきます。



全国の美酒を楽しむ会
会長 鈴木 功さん

☆集い場取材に伺います!!
絆づくりのために活動して
いるグループや団体の情報を
お寄せ下さい。

大沢川いきいきふれあいサロン

それを解消出来る様少
しでもお手伝いになれ
ば!と思い、立ち上げま
した。皆さんが安全に楽
しめる場となるよう願っ
ています。

核家族が多く、性格・
体力もあるでしょうが家
の中にこもりがちになり
ます。

地域の若者の減少を耳
にする昨今、私の町内
でも子供の数より私も含め
先人達が多いのが現状で
す。



サロン代表
村川 三也子さん

行くところがある、仲間がいる
ふれあい・
いきいきサロン

今年度に入り、新しいサロンが
3カ所開設しました。

4月 東笛田サロン

6月 大沢川いきいきふれあい
サロン

9月 南笛田ふれあいサロン

参加者の声～♪

- ◎また開催してほしい
- ◎見守りの勉強になった
- ◎こういう会議こそ定期的にすべき
- ◎色んな立場の人と話せてよかった
- … など 大盛況でした！



盛り上がった！
戸沢地域の様子

市内8地域にて 地域見守り支援会議

開催しました

今までの隣近所住民同士の見守りの輪を広げようという目的で、新たな試みとして地域内の民間企業・事業者の方にも参加して頂きました。「おらだのまち」の見守りの現状とこれからについて意見を申し合いました。

住民も企業も専門職も行政も、みんなで見守りつながり支え合い

街なかサロン

市内の商店街に、高齢の方などが買い物中にベンチで休憩したり、お茶を飲んだりできるお店があります。街なかコンシェルジュのお店には、地域福祉の情報ファイルを置いてあります。

お気軽にお立ち寄り下さい。

みどり色の
ベンチが
目印です



地域高齢者 見守り支援チーム

日中は見守りをする方が少なくなりまます。そこで市内でお仕事をされている民間企業・事業者の方に、普段の業務の中で無理のない見守りにご協力をお願いしております。（現在26団体）

まだまだチームメイト募集中です。皆様のご連絡をお待ちしております！

25周年



⑧の会（代表…井田慶子さん）の活動は、25年目を迎えました。一人暮らし高齢者への手作り弁当の配達や視覚障がい者への声の宅配ボランティア等、福祉のための活動を続けてきました。会員の高齢化が課題でもありますが、新たな仲間の輪を広げながらこれからも活動を継続していきます。

夏休み

ボランティア体験講座

8月6・7・8日の3日間開催講座には、市内の中高生12名の参加がありました。



お知らせ！

「家屋補修」

「粗大ゴミ等収集」

◆今年も実施します。

協力企業によるボランティア事業として、低所得世帯の家屋補修や一人暮らし高齢者・高齢者世帯・障がい者世帯・母子父子家庭等の粗大ゴミ等収集を行います。

お困りの方はいませんか？
10月上旬までに各地区担当民生委員へご相談ください。

「救急安心カード」

◆まだまだ受付中！

あらかじめ「かかりつけ医」や「持病」などの医療情報を専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、救急車を呼ぶ時などの緊急時にその情報を活かします。



現在の作成者
約 3,700 名

赤い羽根共同募金運動が 全国一斉にはじまります



■ 実施期間：10月1日～12月31日

■ 目標額：一世帯あたり 600 円を目標にご協力をお願いします



※ なぜ募金なのに目標額があるの？

赤い羽根教共同募金は、配分計画に基づく計画募金です。
事前に福祉団体や施設からの申請を受け、必要性・緊急性を精査し、
あらかじめ事業推進に必要な額の計画をたて、これを目標とします。
ここから、市町村毎に一世帯あたり必要最小限の目標額を割り出し
てご協力をお願いするものです。
あくまでも募金ですので強制ではなく、任意のものです。

■ 募金の使いみち：皆様からお寄せいただいた H25 年度の募金による県からの配分金（3,849,175 円）は、H26 年度に村山市でのさまざまな福祉活動に役立っています。

・ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	950,000 円	・ 民間立学童保育所支援事業	437,000 円
・ いきいきネットワーク推進事業	480,175 円	・ 障がい者小規模作業所支援事業	100,000 円
・ 心配ごと相談所の開設	120,000 円	・ 障がい者団体の活動支援	80,000 円
・ 福祉むらやまなど広報紙の発行	280,000 円		
・ 地域ごとの福祉活動の推進	1,252,000 円		
・ 老人クラブ活動事業	150,000 円		



本誌に関する、ご意見・お問い合わせはこちらまで

社会福祉法人 村山市社会福祉協議会

〒995-0035 村山市中央 1-5-24

TEL (0237) 52-0321 FAX (0237) 55-7470

Eメール murayamasi-syakyo@themis.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~m-syakyo/>

地域福祉を通じての心温まるお話などもお待ちしております

◆社協までの地図◆

